

# 没後5年、いま、吉岡斉を語る、吉岡斉が語る、 吉岡斉の仕事を考える

中山正敏・綾部広則編  
定価 ¥2,000(+税)

## 吉岡斉を語る／吉岡斉が語る

「懇談会での審議を登山にたとえると、八月から九月にかけて、三合目から九合目へいきなりヘリコプターで運ばれたようなものである。」

「吉岡委員は自分の「少数意見」の他に多数意見の案も書いてやってもよいと申し出た（しかも二度くらい）が、さすがに誰も頼むとは言わなかった。…多数意見をそれなりに説得力のある形で文章化するのが吉岡委員にとって容易なのはわかるが、しかし余りにたちの悪い提案である。」

「高速増殖炉懇談会とは何であったか」『科学・社会・人間』1998年1月号(通算63号)  
(NHK The Life 「ある原子力学者の遺言～未公開資料が語る～」(2023年3月10日放送)でも紹介)

amazonで絶賛発売中



# 目次

## 第一部 吉岡斉を語る

- 吉岡斉さんとの交渉史 (有馬 学)  
吉岡斉さんとの「冒険」 (飯田 哲也)  
吉岡斉さんと対話しながら (井野 博満)  
私にとっての科学論と吉岡斉さん (押川 元重)  
師匠と兄弟子の思い出：弟弟子からみた吉岡先生の優しさと諧謔 (川野 祐二)  
吉岡先生は医療について、どう言ったか (関東 晋慈)  
吉岡 斉先生を偲ぶ～先生との思い出～ (邱 菲)  
「吉岡文庫」の開設 (熊谷 博夫)  
政府委員会委員としての吉岡斉 - 「御用学者」のたたかい (黒田 光太郎)  
吉岡斉さんを偲ぶ (後藤 政志)  
回想 吉岡先生との絆 (斉 天宇)  
吉岡斉先生から学んだこと (佐藤 靖)  
吉岡斉先生：「まなざしの人」 (渋谷 百日紅)  
吉岡 斉先生との二、三のこと (朱 小偉)  
九州大学二一世紀プログラム教育への貢献 (田尾 周一朗)  
羅針盤としての吉岡さん (高橋 さきの)  
吉岡斉氏と通史・新通史 (塚原 修一)  
吉岡さんとの思い出 (常石 敬一)  
吉岡斉先生、やよい先生との思い出 (外川 健一)  
吉岡斉さんの思い出 (中山 伸)  
吉岡斉と「科学・社会・人間」など (中山 正敏)  
吉岡斉さんへの追悼文 (中山 宗子)  
多忙にすぎた吉岡さんの日々 (服部 英雄)  
吉岡斉先生を偲んで (中山 由佳)  
象をなでていたこと (針谷 順子)  
痛快・峻烈・紳士 (藤本 延啓)  
吉岡先生のエピソード (龐 慧妍)  
吉岡斉君のこと - 科学社会学者の思い出 - (松本 三和夫)  
ある学部生から見た吉岡先生 (丸尾 圭祐)  
生命の神聖性とバイオエシックスの理論と実践 - 吉岡斉と生命倫理 - (丸山 マサ美)  
同じ年からみた吉岡斉 (溝口 元)  
吉岡斉先生と私 - 不思議な縁 - (三輪 宗弘)  
吉岡さんと原子力市民委員会 (村上 正子)  
吉岡斉さんのこと (森川 哲雄)  
吉岡先生のとらりて (森田 満希子)  
比較社会文化学府での教育者としての吉岡斉先生 (横山 尊)  
吉岡斉さんを悼む (吉野 太郎)  
吉岡斉——若き日の志 (米本 昌平)  
兄・吉岡斉を偲んで (吉岡 拓)

## 第二部 吉岡斉が語る

- 自己紹介  
戦後日本の科学技術の社会史  
原子力政策と大学の社会史  
高速増殖炉懇談会とは何であったか (吉岡やよいとの共著)

## 第三部 吉岡斉の仕事を考える

- 吉岡斉の活動をふりかえる - 著作物からみた吉岡の時代区分 (綾部 広則)  
『科学者は変わるか』を読んで (河野 洋人)  
『資本論』と吉岡さん (福留 久大)  
吉岡斉『科学文明の暴走過程』 (海鳴社、1991年) を読んで (中山 正敏)  
吉岡斉の仕事を考える - 官僚と専門家 (鈴木 達治郎)  
生命倫理と吉岡斉 - 吉岡斉の仕事を考える (丸山 マサ美)  
吉岡斉さんが高木基金・原子力市民委員会に残したもの (菅波 完)  
ジャーナリズムと専門家 (関東 晋慈)

花書院オンラインショップへ  
ご注文いただいた方は税金  
不要の2,000円にいたします。

お問い合わせは…

 HANA SHOIN  
花書院  
図書出版

TEL 092-526-0287  
FAX 092-524-4411  
URL: <http://hanashoin.com/>